

笑う門には  
福来る。



松山市勝山町1-18-10  
(株)日本交通社  
TEL(089)946-3911  
発行人：中村剛志

一筋の道  
右往左往せよ  
右願左願せよ  
自分への道を  
一筋に行こう  
こまよりほかに  
道はない  
坂村真民

坂村真民記念館(砥部町)

小池邦夫と坂村真民の世界

いのちをつなぐ「心の絵手紙」展

6月1日(日)まで

明朗・愛和・喜働

端午の節句

5月5日は端午の節句です。江戸時代以降、男子の節句とされ、身を守る鎧や兜を飾り、鯉のぼりを立てて、子供の成長や立身出世を願ってお祝いします。端午の節句は菖蒲の節句とも言われ、無病息災を願って菖蒲湯に入り、今年一年健康に過ごせるように祈ります。菖蒲を尚武という言葉にかけて、勇ましい飾りをして、強くたくましく育ってほしいと願うのです。

健やかに育ってもらいたいという願いは、親が子を思う素直な気持ちでしょう。現在、大人である自分も、決して一人で大きくなつたものではありません。私たちという存在は、親や先祖から連綿として受け継がれたものです。こうした生命の流れの素晴らしさに、感謝することは大切でしょう。今日を機に、両親の愛情を振り返り、自らの命の大切さを再確認したいものです。

「孝行をしたい時に親はなし」という状態にならないよう、今日の良き日に、柏餅を食べながら、親子で生命に対する感謝の気持ちをお互いに表わしてみたいかがでしょう。

●家族で幸せを願いましょう

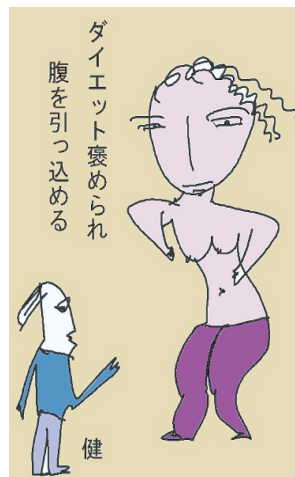
「職場の教養」より

結女さんの松山ミクロン

春星や  
スフィンクスまで  
続く空

春寝覚  
わたしはどこから  
きたのだらう

八木健さんの川柳アート



宇和ちゃんの啖呵山短歌

渋滞も知ったことかとトラックが  
豚満載で悠々とゆく

畦道で友と競いて探したる  
一番星を久しく追わず

道しるべ

うぬぼれは転落の始まり

うぬぼれるから慢心し、人を見下す傲慢が生じ、現状に甘んじて努力を怠る。怠慢が始まる。